

目 次

1	全国都道府県議会議長会役員会出席報告	2
2	全国都道府県議会議長会臨時総会出席報告	2
3	都道府県議会議員共済会理事会出席報告	3
4	九州各県議会議長会出席報告	4
5	韓国旅客船セウォル号沈没事故にかかる弔問について	5

1 全国都道府県議会議長会役員会出席報告

報 告 書

東京都において開催された全国都道府県議会議長会役員会に出席したので、その概要を下記のとおり報告する。

平成 26 年 5 月 29 日

議 長 渡 辺 敏 勝

記

- 1 期 日 平成 26 年 5 月 29 日
- 2 場 所 東京都（都道府県会館）
- 3 出 席 者 長崎県議会議長 ほか 関係府県議会議長等
- 4 概 要

(1) 会長職務代理者挨拶 京都府議会議長 多賀 久雄

(2) 新任役員紹介

(3) 協 議

会長選任について、事務局より「正副会長選任方法申し合わせ」に基づき、理事で構成する「役員選考委員会」で選考の上、会長候補者を総会に諮る旨の説明があり異議なく了承された。

(4) その他

事務局が、5月15日の第31次地方制度調査会に多賀会長職務代理者の出席した旨及び5月16日の第13回地方分権改革有識者会議に阿部副会長が出席した旨の報告を行った。

(6) 閉 会

2 全国都道府県議会議長会臨時総会出席報告

報 告 書

東京都において開催された全国都道府県議会議長会臨時総会に出席したので、その概要を下記のとおり報告する。

平成 26 年 5 月 29 日

記

- 1 期 日 平成 26 年 5 月 29 日
- 2 場 所 東京都（都道府県会館）
- 3 出 席 者 長崎県議会議長 ほか 関係都道府県議会議長等
- 4 概 要

(1)会長職務代理者挨拶 京都府議会議長 多賀 久雄

(2)新任役員紹介

(3)議 事

・会長選任について

「役員選考委員会」で会長候補者として選任された広島県議会議長の林正夫議長を会長とすることについて異議なく可決された。

(4)会長挨拶 広島県議会議長 林 正夫

(5)閉 会

3 都道府県議会議員共済会理事会出席報告

報 告 書

東京都において開催された都道府県議会議員共済会理事会に出席したので、その概要を下記のとおり報告する。

平成 26 年 5 月 29 日

記

- 1 期 日 平成 26 年 5 月 29 日
- 2 場 所 東京都（都道府県会館）
- 3 出 席 者 長崎県議会議長 ほか 関係都道府県議会議長等
- 4 概 要

(1)開会

(2)会長挨拶 広島県議会議長 林 正夫

(3)新理事紹介

(4)協議

・副会長の互選について

・総会の運営について

・平成 25 年度決算の認定について

- ・ 監事の選任について
原案のとおり可決された。

(5)閉 会

4 九州各県議会議長会出席報告

報 告 書

宮崎県において開催された九州各県議会議長会に出席したので、その概要を下記のとおり報告する。

平成 26 年 5 月 16 日

議 長 渡 辺 敏 勝

記

- 1 期 日 平成 26 年 5 月 14 日
- 2 場 所 宮崎県
- 3 出 席 者 長崎県議会議長 ほか 九州各県議会議長及び副議長
- 4 概 要

(1)地元議長及び九州各県議会 宮崎県議会議長 福田 作弥
議長会会長あいさつ

(2)来賓あいさつ 宮崎県知事 河野 俊嗣
宮崎市長 戸敷 正

(3)座長選出

(4)議 事

会務報告について

平成 25 年度九州各県議会議長会決算（案）について

平成 26 年度九州各県議会議長会予算（案）について

平成 26 年度全国都道府県議会議長会役員及び委員会所属（案）について

本県議長は、社会文教委員会委員及び農林水産環境委員会委員として推薦されることとなった。

平成 26 年度九州各県議会議長会の監事選任（案）について

第 148 回全国都道府県議会議長会定例総会に九州ブロックから提出する議案について 議長が長崎県提案議案を説明。

全国都道府県議会議長会からの

高部全国都道府県議会議長会事務総長報告について

(5)次回開催県について 佐賀県に決定

5 韓国旅客船セウォル号沈没事故にかかる弔問について

報 告 書

韓国旅客船セウォル号沈没事故について、弔問を行ったので、その概要を下記のとおり報告する。

平成26年5月10日

議 長 渡 辺 敏 勝

記

- 1 期 日 平成26年5月9日
- 2 場 所 駐福岡大韓民国総領事館
- 3 弔 問 者 長崎県議会議長
- 4 概 要

平成26年4月16日に発生した韓国旅客船セウォル号沈没事故について県議会議長が同国駐福岡総領事館の朴総領事を訪問し、事故による犠牲者に対する弔意を述べるとともに、一人でも多くの方々が救助されることを祈願するため、献花台への献花及び弔問簿への記帳を行った。